



水と人が奏でるハーモニーのまち

宝達志水町

# 議会だより

平成 19 年 9 月 28 日 発行

■発行  
石川県宝達志水町議会  
〒929-1492  
石川県宝達志水町子浦そ 18-1  
TEL(0767)29-8310(直通)  
FAX(0767)29-4623

■編集  
宝達志水町議会  
広報編集特別委員会

第10号



工事の進む木質バイオマス発電施設

主な  
記事

■ 19 年第 2 回定例会 …………… 2

■ 定例会の一般質問 (6 名) …… 6

■ 議員視察報告 …………… 10

# 安心・安全を第一に

## 能登半島地震で被害を受けた町道災害復旧

平成19年  
第2回

# 定例会

6月11日～18日

### 予算関係

#### ◎一般会計補正予算

歳入歳出それぞれに一億二千八百二十九万二千円を増額するもの。

#### 主な歳入

・国庫支出金

五千九百七千円

（道整備交付金、公共土木

施設災害復旧事業費負担

金、など）

・県支出金

二千四百七十四万六千円

（林業災害復旧費補助金な

ど）

・財産収入

一万八千円

（光ファイバ芯線貸付収入

繰入金

△九百五十万四千円

（基金繰入金）

・諸収入

千三百九十三万五千円、

（志雄中学校施設移転補償

料など）

・町債

四千九百万円

（道整備交付金事業債、

現年公共土木施設災害復

旧債など）

#### 主な歳出

・総務費

千三百四十九万三千円

職員人件費、コミュニ

ティ施設整備事業費、情報

化推進事業費

・民生費

七十九万千円

障害者自立支援給付事業

費

・衛生費

二百十四万八千円

母子保健対策事業費、内

臓脂肪症候群克服モデル事

業

・労働費

十二万四千円

シルバー人材センター運

営事業費

・農林水産業費

△二百二万八千円

数量調整円滑化推進事業

費、花き戦略品目育成事業

・土木費

八千八百八十三万九千円

土木総務事務費、道路整

備事業費、道整備交付金事

業費、建築物耐震改修促進

計画事業

・教育費

千六百七十九万五千円

小学校維持補修費、「子ど

もと親の相談員」活用調査

研究、中学校維持補修費、

中学校施設整備事業費、

放課後子どもプラン事業費、

地域生涯学習事業費

・災害復旧費

八百十三万円

公共土木施設災害復旧費

（全員賛成）

### 特別会計予算

#### 事業会計予算

#### ◎老人保健特別会計補正予算

歳入歳出それぞれに三千九百十五万四千円を増額するもの。

#### ◎下水道事業会計補正予算

公共下水道事業建設改良費に九百十万円を増額するもの。

### 条例、規約関係

○宝達志水町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

- 宝達志水町常勤の特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

- 平成十九年度宝達志水町一般会計補正予算

### 人事案件

- 子浦川水防事務組合議会議員の選任

- 宝達志水町次世代育成支援対策地域協議会設置条例

- 平成十八年度宝達志水町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告

- 議会議員の国外派遣  
オーストラリア

### 町道認定関係

- 町道路線の廃止

- 平成十八年度宝達志水町国民健康保険特別会計予算繰越明許費繰越計算書の報告

- 議会議員の国外派遣  
中華人民共和国

(全員賛成)

### 承認(専決処分)の報告十三件

- 平成十八年度宝達志水町一般会計補正予算

- 平成十八年度宝達志水町国民健康保険特別会計予算繰越明許費繰越計算書の報告
- 宝達志水町税条例の一部を改正する条例

- 平成十八年度宝達志水町国民健康保険特別会計補正予算

- 宝達志水町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

- 平成十八年度宝達志水町老人保健特別会計補正予算

- 宝達志水町土地開発公社の経営状況

- 平成十八年度宝達志水町介護保険特別会計補正予算

- 財団法人宝達志水町施設管理公社の経営状況

(賛成多数)

- 平成十八年度宝達志水町国民健康保険直営診療所特別会計補正予算





# 町政を問う

# 質問 いっばん

## 免田・南部用地の企業誘致について

萩山 恭子 議員



### 問

環境保全、地球温暖化防止に貢献し、農業事業に理解、協力してもらええる民間企業誘致は考えられないか。

### 答 収入役

企業誘致促進研究会を設置し、いろいろな角度からの誘致も調査研究をすれば良いのではとの意見もありました。環境保全、地球温暖化防止に貢献できる農業事業もその一つではないかと思われま

### 問

防災意識徹底のための避難場所や臨界事故想定避難経路の周知を図れ

### 答 環境安全課長

現在、避難施設十八施設、避難地は十七か所です。各避難場所には、町指定の看板を設置しています。また、町地域防災計画に基づき、万一災害が発生した場合の対応などを紹介したリーフレットを作成し、全世帯に配布する予定で、これには避難場所を示した地図も掲載する予定です。臨界事故想定避難経路の周知については、臨界事故などの原子力緊急事態に至った場合、国・県との連絡を密にし、迅速かつ的確な対応を図ります。

### 問

葉タバコやブドウ畑など休耕地の状況をどう認識しているか。今後の農業活性化の対策はあるか。

### 答 農林水産課長

具体的な発生防止としては、各種施策による担い手への農地の集積、一般企業への農地のリースや地域の特性を生かした作物の集積、一般企業への農地のリースや地域の特性を生かした作物などを視野に入れ、実効性のある活動計画を策定します。

### 問

利用不可能な状態になっている林道および作業路整備の今後の取り組みを問う。

### 答 農林水産課長

今年度から、全県を対象とし事業化される「いしかわ森林環境基金事業」に積極的に取り組みたいと思います。

### 問

避難道路の整備を急ぐべきと思うが、見解は。

### 答 建設課長

どのような災害発生時でも、どの集落でも道路は重要である。一般県道所司原神子原線については、平成十六年度から、一・五車線化および待避所などの整備が進められており、本年度も整備を進めると聞いている。

# 一般建築物の耐震は大丈夫か

柴田 捷 議員



強に対処したいと思います。

次に中学校、保育所の耐震対策と統廃合の関係であり劣っている結果がでている。

また、保育所では南部保育所以外は、老朽化が見受けられる。その他の施設も同様であり、重要課題です。

集会場等についても、計画的に耐震診断・耐震化に取り組みます。

問

町防災計画において、一般住宅の耐震化の促進など見直しが必要でないのか。

答 町長

昨年度、策定した町地域防災計画の中で一般住宅の耐震化を促進すると示しました。計画の見直しは、県の計画内容を確認したうえで、整合性を図りながら検討したいと考えています。

問

郵政民営化に伴い、町としてのメリット、デメリットは。

答 町長

自主財源確保のうえで、収入の上で資本金や従業員数による均等割や、収益があれば所得による法人税割として課税される法人町民税が見込まれることがメリットです。町としての直接のデメリットは、現在のところ考えられません。

問

能登半島地震の課題から、昭和五十六年以前に建設された建物の耐震性について耐震診断と改修促進のための財政支援策等各種取組の必要性を問う。

答 建設課長

当町は今後の耐震化の状況等にかかる調査・分析を行い、その結果において、耐震改修促進計画を、県などの改修計画を参考に作成したいと考えています。

答 町長

志雄病院については、補強工事が必要との結果が出ています。

その一方で、構造の規制により病床数の見直しや、改造工事も必要であり、医師、看護師の確保、押水クリニックや羽咋病院との地域連携など、病院運営の根幹に係わる問題が山積しています。

町の医療施策の方向性などを再構築したうえで、耐震補

問

町指定の避難地の階段・手すりなどの安全点検実施の有無および点検結果と対応状況は

答 町長

今後、安全点検を実施しながら、改修の必要か所については、協議しながら対応していきたいと考えています。

問

商工会のあり方について

答 町長

商工業の総合的な改善発達に資する事業を推進する団体であることから、行政との連携強化は重要です。

町としては、商工会合併に向けて、合併を積極的に支援したく、町から、事務局長の押水商工会への派遣や、職員間の交流も行っています。

問

商店街のあり方、活性化について

答 町長

支援策として、商品券発行事業に対して補助金支援や、安心・安全な商店街支援のため、街路灯の整備に対しても助成をしています。今後の商店街活性化策については、地

# 地震における防災対策について

守田幸則 議員



**問**

次に、中学校の耐震補強工事と中学校統合の関連について

**答** 町長

志雄・押水両中学校の耐震補強工事と中学校統合の関連性については、今後の整備方針、計画と密接に関連してまいります。

**答** 町長

現在、耐震診断を終えた避難施設は小学校五校で、国の示す基準値を満たす補強工事を終えています。

その他の施設については、今後、公共施設の統廃合の検討を踏まえ、残すかどうか、また、残すならば避難施設として適当かどうかについて検討したうえで耐震への対応をしたいと考えています。

合消防本部へ志賀原子力事務所から、直接専用ファックスで情報の提供が行われております。今後は、情報を消防本部から、直接、当町へ情報伝達する方法について、双方で協議、検討して進めていきたいと考えています。

**問**

連絡体制の再編について

**答** 町長

今回の地震では、発生と同時に電話が不通になり、電話による連絡がとれませんでした。このことを教訓として、職員には、地震をはじめ、災害が発生したら、連絡を待つことなく、直ちに役場に参集するよう周知しています。

**問**

充実した訓練の実施について

**答** 町長

現在、防災関係機関の連携体制の強化および住民の防災意識の高揚等を図ることを目的とし、年一回実施しています。

**問**

職員の被災地派遣で得たものは何か。

**答** 環境安全課長

あらかじめ災害廃棄物の処理対策を定めておくことや、廃棄物関係団体等との相互協力体制の整備などを検討していきたいと考えています。

**答** 健康福祉課長

必要な情報を的確に伝達する体制の更なる整備が不可欠であると痛感しました。

**答** 上下水道課長

町全域の上下水道施設台帳を充実させ、早期対応の強化を行うことが重要であると考えさせられました。

**問**

水害時の避難指示と連絡体制について。

**答** 環境安全課長

災害時、町から発令する避難情報は、緊急性の高いものから「避難指示」「避難勧告」「避難準備情報」の三種類あります。

被害発生あるいは被害発生が予想される現地の状況にに応じ、適切な避難場所を選定し、町広報車や町消防団消防ポンプ車等により住民に周知をいたします。

**問**

ハザードマップの作成手順について

**答** 建設課長

浸水想定区域図を基本資料として避難活用情報と災害学習情報をプラスして作成し、住民へ配布します。



# 避難対策等の防災システム構築について

林 一郎 議員



## 問

サイレンの設置数と、その吹鳴音がどこまで届くかを確認したことが有るか。

## 答 環境安全課長

サイレンの設置数は、全部で七か所あります。いずれのサイレンもモーターサイレンです。

サイレン設置時には、地域のおよびそれぞれのサイレンの距離的なバランスや設置条件等を考慮し設置していますが、吹鳴音がどこまで届くかは、それぞれのサイレンのモーター容量や設計上の音響伝達距離のちがいで、設置場所の地形・障害物・騒音および気象条件(風向、風速、気温、気圧、雨、雪等)により伝達距離は大きく変化し、正確に予測することは非常に難しいことです。今後は詳細に調査し、検討していきたいと考えています。

## 問

避難場所に住民が集中することを想定し、第一、第三の避難場所を考へてはどうか。

## 答 環境安全課長

災害の発生か所等を考慮し、町指定の避難施設、避難地以外の町有施設や地区集会場等で使用可能と判断できるものについては、避難場所として使用を検討したいと考えています。

## 問

住民サイドに立った防災システムの確立について。

## 答 環境安全課長

災害における情報伝達手段としては町広報車やケーブルテレビを用いた手段に加え、必要に応じて、区長や消防団、民生委員等の協力を得ながら情報伝達に努めたいと考えています。

また、現在所有する町防災行政無線のデジタル化や役場庁舎に設置された親局を中心に庁内に設置する子局との間で、住民への一斉通報ができる同報通信システムの構築についても今後検討を進めていきたいと考えています。

## 問

緊急避難時に役立つ「地域まもりマップ」を区長会、民生委員会との会合を設け、作成する考えは有るか。

## 答 健康福祉課長

地域まもりマップ等、民生児童委員や地域包括支援センターにおいて、毎年更新を行っております。

能登半島地震発生時には、民生児童委員が留守であった地域においても区長に安否確認を依頼いたしました。活用でき大変役立ちました。能登半島地震の経験を踏まえて、地域全体でのまもりが重要という認識で、区長会役員と民生児童委員の連絡会を行うための調整を行っております。



志雄運動公園野球場

# 運動施設の管理運営を問う

津田 勤 議員



## 問

無人の施設（特にスポーツ教室や中学校の部活に使っている施設）の今後のあり方について

## 答 町長

財団法人宝達志水町施設管理公社解散後の公共施設の管理業務については、管理の低下をきたすことなく、利用者の利便性を最優先に考慮のうえ、公社が実施してきた全ての業務を町が継続して行っていくきます。

常時、管理人を置く必要が

ない施設は、経費削減の意味から、無人とし、必要な時に鍵をお渡しする方法で利用していただいています。

スポーツ教室や中学校の部活に使っている施設、志雄運動公園体育施設は、現在無人であることから、スポーツ教室や中学校部活動等で使用する場合、さくらドーム管理室および志雄庁舎当直室において、鍵をお渡しし、利用者の十分な責任のもとで、利用いただいています。今後もこの形態をとっていきたいと考えています。

## 答 教育長

無人の施設で、スポーツ教室や中学校の部活動を行うときは、教育指導者および顧問の先生を常駐させ、健全な指導体制を維持するよう、中学校の協力を求めたいと思っています。



志雄運動公園体育センター



# 年金問題について問う

小島昌治 議員



国民年金業務課が時間延長して窓口対応しています。町は、特別の年金相談窓口は設けず、通常の業務で対応します。

## 答 住民課長

台帳は、保管しています。事前に照合調査を実施し、不明のデータについては、再調査を本人宛に照合依頼する予定と伺っています。

## 問

町が保管する年金台帳の情報を本人に提供することが求められていると思う。相談窓口を町で開設できるよう国や県に働きかける必要があると思うがどうか。年金記録はあるのか。調査のために年金記録を提供する必要があると思うがどうか。

## 答 町長

年金台帳の情報は、本人から要望があれば提供します。七尾社会保険事務所では、

## 答 町長

はしか予防接種は、一歳から二歳の誕生日前までと小学校就学前一年間の二回の接種について町が全額負担しています。また、小・中学生に対する未接種者への公費負担を検討したいと考えています。

## 答 健康福祉課長

昭和四十一年から平成十八年五月までは一人一回接種、平成十八年六月からは二回接種としていきます。

## 問

発生状況は、県内で六十二人、宝達志水町内で一人です。国民健康保険基金はいくらか。基金の額は給付費の五パーセントと国は示しているが、当町ではいくらか。国民健康保険税の引き下げを考えたことはないのか。

## 答 町長

現在、基金は一億七千六百四十三万九千円で、平成二十年四月から施行される「後期高齢者医療制度」に伴って生じる支援金の準備や、インフルエンザ等の流行など、緊急の対応に必要だと考えています。

## 答 健康福祉課長

保険給付費の五パーセント積み立てに関して、各自治体の裁量に任されています。当町の基金の割合は十二パーセントになっています。

## 問

後期高齢者医療制度をより充実した制度にするよう、広域連合や国に要請する考えはあるか。

## 答 町長

皆さんが健康で住みやすい町づくりを行うために、必要な要請があれば行なっていくと考えています。

## 問

後期高齢者医療制度での資格証明書の発行ができるか。

国民健康保険の加入者で、後期高齢者医療制度に移行することで保険料が上がる方はどれだけのいるのか。

後期高齢者医療制度には保険料の減免規定があるのか。

## 答 健康福祉課長

資格証明書の交付を行うことができません。

保険料が上がる方の人数については、保険料が決定していない現段階では把握できない状況です。

減額免除の規定については特別な理由の有るものには減免、世帯の所得水準に応じて保険料の軽減等を行うことができます。

# 議員視察報告書

## (上海市・蘇州市)

国際的な動向が、私たちの生活に影響を及ぼし兼ねない状況下において、社会情勢のめまぐるしい変化に対応できる広い視野と、高度な見識を得ることを目的に、この「町議会海外行政視察」を行いました。この海外行政視察で、視察先の国の情勢を直接見聞できたとともに、日本の国を、

さらには宝達志水町を、今まどとは違った角度から見ることができたと思います。

「町議会海外行政視察」は、「地元企業の海外進出と老人福祉」をテーマに掲げ、平成19年6月26日から29日までの4日間、中華人民共和国の上海市と蘇州市で行いました。

上海市では、石川県上海事務所、本町にある三協マテリアル(旧立山合金)の関連会社である立山商業設備有限公司、上海で一番最初に出来た国営老人ホームの上海市第一社会福利院の3か所を、また、蘇州市では、参天製薬有限公

司を訪問しました。企業が抱える問題、高齢者社会問題への取り組みは、我が町の町政への取り組みに通じるところがあります。今後の行政課題の解決やまちづくりへの議員活動の中で、派遣の成果を生かしていきたいと思っております。

地域性の違いからか、視察先での交通ルールへの意識の違いに大変、驚かされました。日本では考えられないような交通に対する意識が、現地にあります。市内は渋滞していて、決められた時間に目的地へ行けるだろうかと思うことが度々ありました。また、

上海空港へ早めに向かったものの、飛行機の出発が2時間遅れるという事も起こりました。何が起るかわからないこと、いろんな事を想定して処理できるようにしておくことは、必要なことであると実感でき、視察先での出来事も貴重な体験となりました。

日中国交正常化35周年、石川県上海事務所開設10年という大きな節目に、合併後初めての海外行政視察ができたこ

と、石川県が推進している小松・上海便空路開設に協力する形で実施できたことは、大変うれしく思います。関係所管の皆様の御理解と御協力のおかげで、この大きな任務を達成することができました。心から御礼申し上げます。

おかげで、この大きな任務を達成することができました。心から御礼申し上げます。



上海立山商業設備有限公司前にて

# 編集後記

今回の議会だよりは、定例会における一般質問の答弁や訪問・視察報告を中心に編集しましたが、行事日程が多岐にわたるため、日数を要しました。発行が遅いとお叱りの言葉も頂戴していますが、これを糧にもっと適時に、そして内容の充実に努めたいと思います。

**広報編集特別委員会**

委員長	中谷 浩之
副委員長	岡野 茂
委員	川崎 與一
委員	林 一郎
委員	金田 之治